事務局ニュース11-NO.8 2011. 12. 27 埼玉県学童保育連絡協議会
事務局移転しました　〒 330-0854　さいたま市大宮区桜木町4-147-1藤本ビル３Ｆ
TEL048-644-1571　FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/　Ｅメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727　埼玉県学童保育連絡協議会

①「放課後児童クラブ運営基準点検結果」が公開されました。自分の地域の点検結果を確認して、運動に生かしましょう！

①来年10月６日・７日、「全国学童保育研究集会in埼玉」を開催
１月28日の全国研in埼玉 第１回実行委員会にご参加下さい！

■ 県連協からの報告（^_^）v

１．埼玉県・埼玉県議会の動き

＊　県「放課後児童クラブ運営基準の点検結果」を通知（12月９日）／
「自然災害対策マニュアル」は県内21市町で策定

県は、「放課後児童クラブ運営基準」（2004年３月策定）にもとづき、04年度から毎年、市町村に対して運営基準に掲げる225項目について実施状況を点検調査し、その結果をホームページで公表しています。県少子政策課は、今年度の調査結果を12月９日付けで市町村へ通知し、併せてＨＰでも公開しました。また、一昨年度からは、「特に改善が求められる事項」を列挙して改善を促しています。今回は、昨年度の指摘事項に加えて、「研修の参加の周知」、「消防」、「おやつ・昼食の対応」等を掲げて改善を促しています（**▲別紙**）。県庁ＨＰを閲覧して、内容を是非、確認して下さい。

「運営基準点検表集計結果」（**▲別紙一部**）は、調査結果の概要となっています。また、「各市一覧表」「各町村一覧表」は、政令市（さいたま市）と中核市（川越市）を除いた全市町村の結果が各市町村のクラブ分の集計という形で掲載されています。

みなさんのそれぞれの地域で、①そもそも、市町村が正確に調査を行っているか　②何が自分の地域の課題・問題かを、全県や他市町村との比較で明らかにして話し合って下さい。

県はまた、今回この調査と併せて、「放課後児童クラブ自然災害対策マニュアル」を策定しているかを調査を実施しました。その結果、県内61市町中21市町で策定しているとのことでした。

２．国の動き　「子ども・子育てシステム」

（１）10月から「子ども・子育て新システムWT」を再開

政府の「子ども・子育て新システム」の動きですが、７月に「新システム検討会議」が「中間取りまとめ」を提出して以降、10月から「新システム基本制度ワーキングチーム」が再開されました。

第16回会合（11月24日）では、「費用負担」、「子ども・子育て包括交付金」、「市町村事業」についての討議が行われました。

「費用負担の考え方（事業主の負担の考え方）について」は、公費を中心に負担するが、事業主拠出を求めることが提案されました。**「子ども・子育て包括交付金について」は、「現金給付」「こども園給付」「市町村事業」を一括して地方へ交付する。「市町村事業」である学童保育事業（放課後児童クラブ事業）も含まれます。**

「一括交付金」とされた場合、自治体の裁量によって交付先が決まることとなり、制度が脆弱な学童保育（放課後児童クラブ）へ確実に公費が届くのかという危惧が生じます。この点について厚生労働省は、「放課後児童クラブについては、市町村が策定する事業計画にもとづいて支給することになる。計画を立てない市町村はあり得ないので、放課後児童クラブにも公費は届くことになると考えている」とのことです（※11月22日の全国学童保育連絡協議会と厚生労働省との懇談にて）。

学童保育事業も含まれる**「市町村事業（子ども・子育て支援事業（仮称）について）」は、「質を確保する観点から、人員配置、施設、開所日数・時間などについては、国に一律の基準を設定」**（７月の中間とりまとめですでに提示されていた）することを提案しています。

11月22日の全国連協と厚生労働省との懇談において「**７月の中間とりまとめで提示した５点（※下記参照）についてはすべて児童福祉法改正と関わる**。実際には児童福祉法施行令等に明記されると考えている」と説明しています。

> ※　**平成23年７月29日「子ども・子育て新システムに関する中間とりまとめについて」（少子化社会対策会議決定）**から抜粋
> ○小学校４年生以上も対象となることを明記し、４年生以上のニーズも踏まえた基盤整備を行う。
> ○放課後児童クラブについては、市町村が地域のニーズ調査等に基づき実施する旨を法定する。市町村は、市町村新システム事業計画（仮称）で需要の見込み、見込量の確保策を記載し、提供体制を計画的に確保する。
> ○質を確保する観点から、人員配置、施設、開所日数・時間などについて、国は一律の基準を設定する。
> ○その際、国の基準と地方公共団体の裁量の範囲については、今後、更に検討する（基準の客観性は担保）。
> ○利用手続きは市町村が定める。ただし、確実な利用を確保するため、市町村は、利用状況を随時把握し（事業者は市町村に状況報告）、利用についてのあっせん、調整を行うことを検討する。

（２）厚生労働省は「新システム法案」を来年の通常国会に提案する予定

政府は12月20日、社会保障・税一体改革に関する関係５大臣会合を開き、一体改革の素案骨子について、社会保障改革案のとりまとめを行いました。この改革案に「子ども・子育て新システム」が含まれており、政府は、関係法案を来年の通常国会に提出する定です。今後、政府税制調査会などで議論を進めている消費税増税を中心とした税制改革案と合わせ、年内の一体改革素案の決定を目指すとしてます（12月20日付け『東京新聞』）。

３．県連協主催の会議・研修会・学習会等

（１）県連協第３回代表委員会を開催　全国研in埼玉の方針を討議しました

12月17日（土）　於：さいたま市生涯学習総合センター

11月12日の実行委員会準備会での参加者の意見もふまえて、来年の埼玉集会をどう成功させるか、実行委員会をどのように作っていくかを討議しました。この内容もふまえて、来年１月28日の「全国研in埼玉」第１回実行委員会により具体化した方針を提案する予定です。

（２）「第11回集中講座・障害児の生活づくり１日目」を開催　150名が参加しました

12月11日（日）　於：埼玉県県民活動総合センター

２日目は、２月５日（日）、埼玉教育会館（JR「浦和駅」西口下車徒歩10分）で開催します。

４．全国学童保育連絡協議会のとりくみ

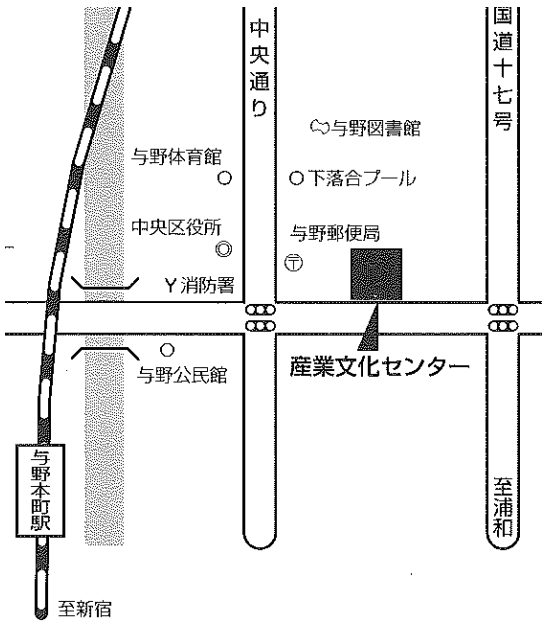
＊　厚生労働省等と交渉しました 12月16日（金）

厚生労働省等各省庁と各政党などに、学童保育制度の拡充を求めて要望書を提出しました。

次年度の政府予算への要望と併せて、「子ども・子育て新システム」に関して要望しました。

県連協からお知らせ・お願い　（^0^）

１．「全国研in埼玉」第１回実行委員会にすべての地域連協・クラブの会、学童保育から＋「全国研in埼玉」のキャッチコピー・キャラクターを先行募集します！



2012年は「全国研in埼玉」開催の年です。11月に実行委員会準備会を開催し、いよいよ１月から実行委員会をスタートさせます。

□日時　１月28日（土）18時開場、15分開会

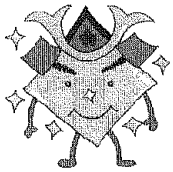
□場所　さいたま市産業文化センター会議室301

□内容　①「全国研in埼玉」開催の意義、どのように成功させるか？　②実行委員会の内容・構成・進め方　について提案し、話し合います。

□お願い　１．実行委員会の主な役割は、①全国から参加者を受け入れのための当日までと当日の実務②埼玉としての企画（歓迎のための行事、資料作成）づくりです。

この日の実行委員会後に実行委員を選出していただくのでもかまいません。地域連協・学童保育の会・加盟学童保育から複数でご参加下さい。

２．「全国研in埼玉」成功のためにキャッチコピーとイメージキャラクターを募集します。因みに、石川集会のキャラクターは白山市の指導員が考案した「きんぱ君」　→



キャッチコピーは特にありませんでしたが、実行委員会ニュースの題名が「きまっし　みまっし」、全国研当日の速報の題名が「あんやと」（ありがとう）でした。

2．当面の行事／第33回埼玉県学童保育実践交流会を開催します

２月26日（日）　於：国立女性教育会館　**▲チラシを同封しました。**

3．障害児学童保育ブロック、全国放課後連からのお知らせ・お願い

（１）『障害のある子どもの放課後活動ハンドブック』（1,600円）を普及して下さい！
※下記の注文書を使ってご注文下さい。

（２）全国放課後連　東日本大震災被災地支援　300万募金にご協力ください

東日本大震災では、障害児の放課後活動を行う事業所や障害児学童保育も被災しました。全国放課後連では、岩手県・宮城県・福島県に所在する全国放課後連に関係する事業所30か所を対象に義援金活動を行っています。１事業所10万円を目標にとりくんでおり、12月現在230万円余が集まっています。学童保育、地域連絡協議会としてもご協力下さい。下記までお振り込み下さい。

郵便振替　００１００－４－７７４０９９　全国放課後連東日本大震災義援金部会

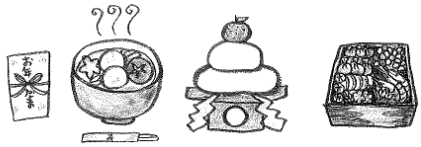
◇　県連協・全国連協等　当面の予定　◇

１月28日（土）　第１回全国研in埼玉実行委員会　シーノ６階　桜木公民館・調理実習室
２月５日（日）　第11回集中講座・障害児の生活づくり・２日目　於：埼玉教育会館
２月　第４回県連協代表委員会
２月26日（日）　第33回実践交流会　於：嵐山・国立女性教育会館
４月　第５回県連協代表委員会
５月27日（日）　第40回埼玉県学童保育連絡協議会総会・研究集会　於：上尾市文化センター
午前＝総会　開場9:00　開会9:30～12:30　午後＝研究集会　13:30～16:30

ＦＡＸ送信書048（644）1572　**Eメール** gakudoust@yahoo.co.jp

地域連協ないしクラブ名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
電話＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿　メール＿＿＿＿＿＿＿＿

「障害のある子どもの放課後活動ハンドブック」

［　　］**部送って下さい。**

＊　本年は大震災・原発事故があり、心から新年を喜ぶ気持ちにはなかなかなれませんが、新しい年が本当の意味でよいお年になりますように。